

大学番号：私278

注3

[平成22年度設置]

計画の区分：大学の設置

注1

認可

横浜美術大学 美術学部 美術学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 トキワ松学園
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 横浜美術大学総務課

職名・氏名 ソフムカチョウダイリ 総務課長代理 オオシマ ヤスユキ 大島 靖之

電話番号 045-963-4189

（夜間） 045-963-4189

F A X 045-961-7371

e-mail keiri@yokohama-art.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

- 1 調査対象大学等の概要等
- 2 授業科目の概要
- 3 施設・設備の整備状況、経費
- 4 既設大学等の状況
- 5 教員組織の状況
- 6 留意事項に対する履行状況等
- 7 その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 トキワ松学園

(2) 大学名

横浜美術大学

(3) 大学の位置

〒227-0033

神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1204番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(マガラ ヤスモト) 眞柄 泰基 (平成20年4月)		
学長	(ハルヤマ フミノリ) 春山 文典 (平成22年4月)		
学部長	(クツマ ヒロシ) 沓間 宏 (平成22年4月)	(ヤマダ ヒロカズ) 山田 弘和 (平成24年4月) (クツマ (マルヤマ) ヒロシ) 沓間 (丸山) 宏 (平成22年4月)	任期満了に伴う交代。 (24) 戸籍上の本姓が () 内 のとおりとなったため。 (22)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成21年度開設の4年制の学科の場合（平成24年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
美術学部 美術学科 学士（美術）	4年	190人	3年次6年次人	772人	平成22年4月に1年次、3年次同時開学

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	190 (196) [-]	-	190 (196) [-]	-	190 (6) [-]	-	() []	-	0.98倍 (0.68)	()内は3年次開学分を示す。
志願者数	358 (144) [(1)]	-	253 (86) [2]	-	222 (8) [2]	-	() []	() []		
受験者数	337 (140) [(1)]	-	238 (86) [2]	-	212 (8) [2]	-	() []	() []		
合格者数	284 (136) [(1)]	-	237 (86) [2]	-	206 (8) [2]	-	() []	() []		
B 入学者数	220 (127) [(1)]	-	179 (82) [1]	-	164 (6) [1]	-	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.15 (0.64)		0.94 (0.41)		0.86 (1.00)					

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様に**してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[0] 220	[—] —	[1] 185	[—] —	[1] 165	[—] —	[]	[]	
2 年次			[0] 205	[—] —	[1] 179	[—] —	[]	[]	
3 年次			[1] 127	[—] —	[0] 83	[—] —	[0] 189	[—] —	
4 年次			[1] 118	[—] —	[0] 86	[—] —	[]	[]	
計			[1] 347	[2] 591	[2] 619	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成 2 4 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)	
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数			
平成21年度 入学者	人	0 人	平成21年度	人	人			
			平成22年度	人	人			
			平成23年度	人	人			
			平成24年度	人	人			
平成22年度 入学者 ()内は3年 次編入学生 を示す。	220 (127) 人	20 (11) 人	平成22年度	9 (8) 人	0 (0) 人	・就学意欲の低下 3(1)・他の教育機関への入学・転学 2(2)・就職 1(1)・学生個人の心身に関する事情 2(2)・経 済的理由 0(1)・除籍 0(1)・その他 1(0)	9.1 (8.7) %	
			平成23年度	11 (3) 人	0 (0) 人			・就学意欲の低下 2(1)・他の教育機関への入学・転学 5(0)・就職 0(1)・経済的理由 3(1)・除籍 1(0)
			平成24年度	0 (0) 人	0 (0) 人			
平成23年度 入学者 ()内は3年 次編入学生 を示す。	179 (82) 人	17 (2) 人	平成23年度	17 (2) 人	0 (0) 人	・就学意欲の低下 4(1)・他の教育機関への入学・転学 2(0)・就職 3(0)・学生個人の心身に関する事情 3(1)・経 済的理由 2(0)・除籍 2(0)・その他 1(0)	9.5 (2.4) %	
			平成24年度	0 (0) 人	0 (0) 人			
平成24年度 入学者 ()内は3年 次編入学生 を示す。	164 (6) 人	0 (0) 人	平成24年度	0 (0) 人	0 (0) 人		0 (0) %	
合 計	563 (215) 人	37 (13) 人					6.6 (6.0) %	

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<美術学部 美術学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	初年次 教育	アカデミックリテラシー	1前	2			2	2					
		小計(1科目)	—	2	0	0	2	2					
	人文	哲学概論	1・2前後		2			1					
		文学	1・2前後		2			1					
		心理学	1・2前後		2							兼1	
		教育学概論	1・2前後		2			1					
		教育心理学	3・4後									兼1	履修上のバランスを配慮して、配当年次を変更(22)
		教育哲学	3・4前		2								
		小計(6科目)	—	0	12	0		2				兼2	
	社会・歴史	法学	1・2前後		2		1						
		日本国憲法	2・3前後		2		1						
		法学特論	3・4前後		2		1						
		知的財産法A	2・3前後		2		1						
		知的財産法B	2・3前後		2		1						
		歴史学概論	1・2前後		2							兼1	
		経済学	1・2前後		2							兼1	
		小計(7科目)	—	0	14	0	1					兼2	
	体育	体育	1・2通		2							兼2	※講義
		小計(1科目)	—	0	2	0						兼2	
	一般教養	英語 I	1通	2				1					
			2・3通										教育効果上から通年に変更(23)
		英語 II	2・3前後		2							兼1	
		フランス語 I	1・2通										教育効果上から通年に変更(23)
			1・2前後		2							兼1	
		フランス語 II	2・3通										教育効果上から通年に変更(23) 22年度は3年次履修希望者がいなかったため未開講(23)
	小計(4科目)	—	2	6	0		1				兼2		
	造形	造形表現(彫刻A)	1・2前後		2		1				1	兼1	
		造形表現(彫刻B)	1・2前後		2		1				1		
		造形表現(描画A)	1・2前後		2		1				1		
		造形表現(描画B)	1・2前後		2		1				1		
		造形表現(工芸A)	1・2前後		2		1				1	兼1	教育課程構成上のバランスを考慮して教員を追加(23)
		造形表現(工芸B)	1・2前後		2						1	兼1	
		造形表現(デザインA)	1・2前後		2		1				1		
造形表現(デザインB)		1・2前後		2		1				1			
小計(8科目)		—	0	16	0	3				4	兼3		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
一般教養	メディア表現	情報処理概論	1・2前後	2			1						
		コンピュータリテラシー	1・2前後	2			1						
		コンピュータ編集	2・3前後	2			1						
		コンピュータハードウェア	2・3後	2			1						
		コンピュータネットワーク	2・3前	2			1						
		コンピュータグラフィックス	2・3後	2								兼1	
		ウェブデザインⅠ	1前	2			1			1			
		ウェブデザインⅡ	1後	2			1			1			
		ウェブデザイン演習	2前後									教育効果上から前後期に変更(23)	
		ウェブデザイン演習	2前	2						1		兼1	
		ウェブプログラミング演習	2後	2				1		1			
		マルチメディア演習	2前	2						1		兼1	
	3D表現	2前後	2						1		兼1		
	小計(12科目)	—	0	24	0		1			2		兼3	
	総合	原典講読	3・4前		2		1	2					
		教養演習	3・4後		2		2	2					
		環境科学	1・2前後		2							兼1	
		キャリアデザイン講座	3・4前後		2							兼1	
		ボランティア講座	2・3通		2		2					オムニバス	
	小計(5科目)	—	0	10	0	4	2					兼2	
	共通科目	美術理論	美学概論	1・2前後	2								兼1
			色彩概論	1・2前後	2			1					
			色彩特論	3・4前後		2		1					
造形美術論Ⅰ			1・2前後	2			1						
造形美術論Ⅱ			1・2前後		2		1						
造形図法			1・2前後		2		1						
構図論			1・2前後		2		1						
美術解剖学			1・2前後		2							兼1	
美術表現論			2・3前後		2		2					兼1	
現代美術論			3・4前後		2		1					オムニバス	
デザイン概論			1・2前後	2				1					
デザイン特論			3・4前後		2		1	1				教育課程構成上のバランスを考慮して教員を変更(23)	
映像論			3・4前後		2			1					
絵本論			3・4前後		2			1					
漫画論			3・4前後		2							兼1	
身体表象論		3・4前後		2			1						
工芸論		3・4前後		2		1							
環境デザイン論		3・4前後		2							兼1		
専門教養		プロダクトデザイン論	3・4前後		2		1					教育課程の充実を図るため、科目を追加(23) 担当 山田弘和(教授) 平成22年9月教員審査済 判定可(22)	
		パフォーミング・アーツ論	3・4前後		2							兼1	
		美術教育論	3・4前後		2		1						
		芸術企画論	3・4前後		2		1						
		博物館概論	1・2前後		2		1						
	小計(23科目)	—	6	40	0	5	5					兼6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
専門教養	美術史	西洋美術史Ⅰ	1前	2			1								
		西洋美術史Ⅱ	1・2後		2		1								
		西洋美術史特論	3・4前後		2		1								
		西洋工芸史	3・4前後		2		1								
		日本美術史Ⅰ	1前		2			1							
		日本美術史Ⅱ	1・2後		2			1							
		東洋美術史	1・2前後		2			1							
	小計(7科目)	—	2	12	0	1	1								
	造形演習	絵画	3前後		2			1			1	兼1	オムニバス		
		工芸	3前後		2		2	1			1	兼3	オムニバス 履修希望者増による開講数増(24)		
		ビジュアルデザイン	3前後		2		3	2			2		教育課程構成上のバランスを考慮して教員を変更(23) オムニバス		
		小計(3科目)	—	0	6	0	4	5			4	兼4 兼1			
	共通科目	基礎実技	美術リテラシー	美術リテラシー(導入)	1前	2			3	2		1	8	兼7 兼8	教育課程構成上のバランスを考慮して教員を変更(23)
				美術リテラシー(彫刻)	1・2前		2		1				2		
美術リテラシー(描画)				1・2前後		2		1	2			2	兼1	役職(学部長)就任により教員を変更(24) 教育課程構成上のバランスを考慮して教員を追加(23)	
美術リテラシー(工芸)				1・2後		2		1				1		履修上のバランスを配慮して、配当年次を変更(22)	
美術リテラシー(デザイン)				1・2前		2		1	1			2			
美術リテラシー(デジタル)				1・2前		2			1			4	兼1		
美術リテラシー(DTP)				1・2前後		2						4	兼2	兼5 兼3 教育課程構成上のバランスを考慮して教員を追加(23)	
美術リテラシー(Web)				1・2前後		2						4	兼4	兼3 担当予定講師の不都合によるため教員を変更(24)	
小計(8科目)				—	2	14	0	6	5		1	12	兼17		
専門科目				絵画領域	絵画	絵画基礎Ⅰ	1前		2※		1				2
	絵画基礎Ⅱ	1後				6※		1	1			2	兼4	担当予定講師の不都合によるため教員を変更 平成24年6月変更書提出予定(24) オムニバス 選択必修	
	絵画基礎Ⅲ	2前				6※		2	1			2	兼4	オムニバス 選択必修	
	絵画基礎Ⅳ	2後				8※		1				2	兼6	担当予定講師の不都合によるため教員を変更(23) オムニバス 選択必修	
	絵画Ⅰ	3前				8※		2	1			2	兼4	オムニバス 選択必修	
	絵画Ⅱ	3後				8※		2	1			2	兼4	オムニバス 選択必修	
	美術研究Ⅰ(絵画)	4前				2※		2	1			2		オムニバス 選択必修	
	美術研究Ⅱ(絵画)	4前				2※		2	1			2		オムニバス 選択必修	
	美術研究Ⅲ(絵画)	4前				2※		2	1			2		オムニバス 選択必修	
	美術研究Ⅳ(絵画)	4前				2※		2	1			2		オムニバス 選択必修	
	小計(10科目)	—	0			46	0	2	1			4	兼13		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 工芸領域	共通 (工芸)	素材表現基礎	1前	2※		1	1			3	兼4	オムニバス 選択必修	
		平面表現基礎	1後	2※			1		1	2		オムニバス 選択必修	
		立体造形基礎	1後	2※		1				2	兼1	オムニバス 選択必修	
		メタルクラフト基礎	2前	2※		1				1	兼1	オムニバス 選択必修	
		テキスタイル基礎	2前	2※			1		1	1	兼1	オムニバス 選択必修	
		クラフト(形体)	2前	2※		1				1	兼2	オムニバス 選択必修	
		クラフト(空間)	2前	2※						1	1	兼1 兼2	工芸領域内の教育効果を高めるため教員を変更(24) オムニバス 選択必修
		小計(7科目)	—	0	14	0	2	1		1	4	兼7	
	クラフト デザイン	メタルクラフトⅠ(彫金技法によるデザイン)	2後	2※		1				1	兼2	オムニバス 選択必修	
		メタルクラフトⅡ(鍛造技法の応用)	2後	2※		1				2	兼1	オムニバス 選択必修	
		エクステリアエレメント	2後	2※		1				1	兼1	オムニバス 選択必修	
		工芸計画(クラフト)	2後	2※		1				1		オムニバス 選択必修	
		クラフトデザインⅠ(接合技法とメタルクラフト)	3前	2※		1				1	兼1	オムニバス 選択必修	
		インテリアエレメントA(木と金属の家具デザイン)	3前	3※		1				2	兼1	オムニバス 選択必修	
		クラフトデザインⅡ(器のデザイン)	3前	3※		1				2	兼1	オムニバス 選択必修	
		クラフトデザインⅢ(機能と道具のデザイン)	3後	4※		1				2	兼3	オムニバス 選択必修	
		テーマ制作	3後	4※		1				3	兼2	オムニバス 選択必修	
		美術研究Ⅰ(クラフトデザイン)	4前	2※		1				3	兼3	オムニバス 選択必修	
		美術研究Ⅱ(クラフトデザイン)	4前	2※		1				3	兼4	オムニバス 選択必修	
		美術研究Ⅲ(クラフトデザイン)	4前	2※		1				3	兼2	オムニバス 選択必修	
		美術研究Ⅳ(クラフトデザイン)	4前	2※		1				3	兼1	オムニバス 選択必修	
	小計(13科目)	—	0	32	0	3				3	兼6		
	テキスタイル デザイン	テキスタイルⅠA(織りの基本技法と知識)	2後	2※						1	1	兼1	オムニバス 選択必修
		テキスタイルⅠB(プリントデザイン)	2後	2※				1			1	兼2 兼1	工芸領域内の教育効果を高めるため教員を追加(24) オムニバス 選択必修
		テキスタイルⅡA(ウェアラブルデザイン)	2後	2※				1		1	1	兼1	オムニバス 選択必修
		工芸計画(テキスタイル)	2後	2※						1	2	兼4 兼5	担当予定講師の不都合によるため教員を変更(23) オムニバス 選択必修
		テキスタイルⅡB(プリントとデザイン展開)	3前	2※				1			1	兼2	オムニバス 選択必修
		テキスタイルⅢ(ファブリックアート)	3前	3※				1		1	1	兼1	オムニバス 選択必修
		インテリアエレメントB(家具とカバリングデザイン)	3前	3※				1			3	兼3 兼2	工芸領域内の教育効果を高めるため教員を追加(24) オムニバス 選択必修
		テキスタイル総合表現	3後	8※				1		1	1	兼3	オムニバス 選択必修
		美術研究Ⅰ(テキスタイルデザイン)	4前	2※				1		1	2	兼3	オムニバス 選択必修
		美術研究Ⅱ(テキスタイルデザイン)	4前	2※				1		1	2	兼3	オムニバス 選択必修
		美術研究Ⅲ(テキスタイルデザイン)	4前	2※				1		1	2	兼3	オムニバス 選択必修
美術研究Ⅳ(テキスタイルデザイン)		4前	2※				1		1	2	兼3	オムニバス 選択必修	
小計(12科目)	—	0	32	0		1			1	3	兼9		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	共通(ビジュアル)	ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)	1前	2※		1	1		1	4	兼3 兼4 ビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため教員を変更(23) オムニバス選択必修
		ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)	1・2前後	3※		1		1	4	兼5 兼4 ビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため教員を変更(23) オムニバス選択必修	
		ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)	1・2前後	3※			2		1	4	兼2 兼3 ビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため教員を変更(23) オムニバス選択必修
		ビジュアルデザイン基礎B(映像メディアデザイン)	1・2前後	3※		1	1			4	兼2 オムニバス選択必修
		ビジュアルデザイン基礎C(イラストレーション)	1・2前後	3※			1		1	4	兼4 兼3 ビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため教員を変更(23) オムニバス選択必修
		ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)	2後	4※		2	2			4	兼4 オムニバス選択必修
		ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)	2後	4※		1	2			4	兼5 オムニバス選択必修
		ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)	2後	4※		1	3			4	兼4 ビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため教員を変更(23) オムニバス選択必修
		小計(8科目)	—	0	26	0	4	5		1	4
	グラフィックデザイン	グラフィックデザインⅠ(共通課題)	3前	4※		2	1			2	兼3 オムニバス選択必修
		グラフィックデザインⅡA(タイポグラフィ・エディトリアル)	3前後	4※		1	1			2	兼2 オムニバス選択必修
		グラフィックデザインⅡB(ビジュアルコミュニケーション)	3前後	4※		2	1			2	兼2 オムニバス選択必修
		グラフィックデザインⅡC(デジタルクリエーション)	3後	4※		1				2	兼2 オムニバス選択必修
		美術研究Ⅰ(グラフィックデザイン)	4前	2※		2	1			2	兼4 オムニバス選択必修
		美術研究Ⅱ(グラフィックデザイン)	4前	2※		2	1				兼4 オムニバス選択必修
		美術研究Ⅲ(グラフィックデザイン)	4前	2※		2	1				兼4 オムニバス選択必修
		美術研究Ⅳ(グラフィックデザイン)	4前	2※		2	1				兼4 オムニバス選択必修
		小計(8科目)	—	0	24	0	2	1			3
	映像メディアデザイン	映像メディアデザインⅠA(メディア・インスタレーション)	3前	4※		1				1	兼1 オムニバス選択必修
		映像メディアデザインⅠB(アニメ・映像デザイン)	3前	4※			1			1	兼1 オムニバス選択必修
		映像メディアデザインⅡA(メディア・インスタレーション)	3後	8※		1				1	兼2 兼1 担当予定講師の不都合によるため教員を変更(23) オムニバス選択必修
		映像メディアデザインⅡB(アニメ・映像デザイン)	3後	8※			1			1	兼2 兼1 担当予定講師の不都合によるため教員を変更(23) オムニバス選択必修
		美術研究Ⅰ(映像メディアデザイン)	4前	2※		1	1			2	兼2 オムニバス選択必修
		美術研究Ⅱ(映像メディアデザイン)	4前	2※		1	1				兼2 オムニバス選択必修
		美術研究Ⅲ(映像メディアデザイン)	4前	2※		1	1				兼2 オムニバス選択必修
		美術研究Ⅳ(映像メディアデザイン)	4前	2※		1	1				兼2 オムニバス選択必修
小計(8科目)		—	0	32	0	1	1			2	兼6

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ビジュアルデザイン領域 イラストレーション	イラストレーションⅠ(発想と描写①)	3前	4※		1	2		1	2	兼3 ビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため教員を変更(24) 兼4 ビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため教員を変更(23) 助教欄の前年度変更記載漏れを修正(24) 兼2 オムニバス 選択必修	
		イラストレーションⅡ(発想と描写②)	3前	4※		1	2		1	2	兼3 ビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため教員を変更(24) 兼4 ビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため教員を変更(23) 助教欄の前年度変更記載漏れを修正(24) 兼2 オムニバス 選択必修	
		イラストレーションⅢ(エディトリアル)	3後	4※		1	2		1	2	助教欄の前年度変更記載漏れを修正(24) 兼2 オムニバス 選択必修	
		イラストレーションⅣ(絵本)	3後	4※		1	2		1	2	助教欄の前年度変更記載漏れを修正(24) 兼2 オムニバス 選択必修	
		美術研究Ⅰ(イラストレーション)	4前	2※		1	2			2	兼2 ビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため教員を変更(24) 兼1 オムニバス 選択必修	
		美術研究Ⅱ(イラストレーション)	4前	2※		1	2				兼2 ビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため教員を変更(24) 兼1 オムニバス 選択必修	
		美術研究Ⅲ(イラストレーション)	4前	2※		1	2				兼2 ビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため教員を変更(24) 兼1 オムニバス 選択必修	
		美術研究Ⅳ(イラストレーション)	4前	2※		1	2				兼2 ビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため教員を変更(24) 兼1 オムニバス 選択必修	
	小計(8科目)	—	0	24	0	1	2			2	兼6	
	通域全領	卒業制作	4後	8			7	6		1	10	兼19
		小計(1科目)	—	8	0	0	7	6		1	10	兼19
	合計(160科目)		—	22	386	0	14	12		2	25	兼81

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職の意義	教職入門	1・2後 1・2前			2	1						教職課程認定に伴い教員変更（専任から兼任へ）及び配当年次を変更(22)
												兼1
教職の基礎	教育学概論（再掲）	1・2前後		2			1					
	教育哲学（再掲）	3・4前後		2			1					
	教育心理学（再掲）	3・4前		2								兼1
	教育制度論	1・2後			2							兼1
教育課程・指導法	美術教育論（再掲）	3・4前後		2		1						
		3前										教職課程認定に伴い教員変更（専任から兼任へ）及び配当年次を変更(22)
	教育方法論	3後			2		1					兼1
		3通			4							教職課程認定に伴い配当年次及び単位を変更(22)
	美術科教育法Ⅰ	3前			2	1						
	美術科教育法Ⅱ	4後										教職課程認定に伴い配当年次を変更(22)
	道徳教育の研究	3後			2	1						
特別活動の指導法	3前			2							兼1	
育導生相・徒談教指	生徒・進路指導の研究	3後			2							兼1
	教育相談	3後			2							兼1
実践演習	教職実践演習(中等)											教職課程認定に伴い科目名称を変更(22)
	教職実践演習	4通			2	1						
教育実	教育実習の研究	4前			1	1						
	教育実習Ⅰ	4通			2	1	1					
	教育実習Ⅱ	4通			2	1	1					
	小計（17科目）	—	0	8	27	1	1					兼4

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成23年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
8	151	0	159	8	152	0	160	
				[0]	[1]	[0]	[1]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	37,265 m ²	0 m ²	0 m ²	37,265 m ²				
	運動場用地	3,800 m ²	0 m ²	0 m ²	3,800 m ²				
	小 計	41,065 m ²	0 m ²	0 m ²	41,065 m ²				
	そ の 他	325 m ²	0 m ²	0 m ²	325 m ²				
	合 計	41,390 m ²	0 m ²	0 m ²	41,390 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	16,335m ² (16,335m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	16,335m ² (16,335m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 情報処理学習施設補助 体制強化のため(24)			
	8室	6室	45室	6室 (補助職員 2人) (補助職員 1人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	美術学部 美術学科			28 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	図書を充実させるため (24) 図書を充実させるため (23) 図書を充実させるため 雑誌等の経費を回し た。(22)	
		[うち外国書]	[うち外国書]						[うち外国書]
	美術学部	冊	種						
		49,000 [7,000]							
		44,530 [6,594]	80 [19]	2 [1]	1,256				
		44,000 [6,500]	150 [15]	2 [2]	1,330	0	0		
(47,307 [6,658])									
(44,530 [6,594])	(80 [19])	(2 [1])	(1,256)						
(44,000 [6,500])	(150 [15])	(2 [2])	(1,330)	(0)	(0)				
計	49,000 [7,000]								
	44,530 [6,594]	80 [19]	2 [1]	1,256					
	44,000 [6,500]	150 [15]	2 [2]	1,330	0	0			
	(47,307 [6,658])								
	(44,530 [6,594])	(80 [19])	(2 [1])	(1,256)					
	(44,000 [6,500])	(150 [15])	(2 [2])	(1,330)	(0)	(0)			
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体		
	715m ²	115席		80,000冊					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体		
	1,053m ²	体 育 用 具 室 190.0m ²							

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナルの整備費（運用コスト含む）を含む。 図書は充実させるため(24) 共同研究費は複数年で進行しているため(24) 設備は一層の充実のため(24) 研究費は実額確定及び複数年にわたるもの(23) 図書は充実させるため(23) 設備は前年度納品遅れ処理及び設備充実のため(23) 図書を充実させるため(22) 納品が次年度となったため(22)
		教員1人当り研究費等	314千円 328千円 350千円	350千円	図書購入費	20,265千円 20,066千円	5,068千円 5,241千円 5,000千円	5,000千円	
		共同研究費等	1,935千円 42千円 3,000千円	3,000千円	設備購入費	188,031千円 204,768千円	31,050千円 24,518千円 17,000千円	17,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,748千円	1,448千円	1,448千円	1,448千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	〇〇大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 員 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 年 度	所 在 地	
	年	人	年 次 人	人		倍			
大学の名称	横浜美術短期大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 員 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 年 度	所 在 地	
	年	人	年 次 人	人		倍			
造形美術科	2	—	—	—	短期大 学 士 (芸 術)	—	昭和41 年度	神奈川県横浜市 青葉区鶴志田町 1204	※平成22年度より 学生募集停止 ※平成24年度廃 止認可申請予定

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科（AC対象学部等を含む）について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<美術学部 美術学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授 (学部長・学料長)	沓間 宏 (55)	平成22年4月	絵画基礎Ⅲ※ 絵画基礎Ⅳ※ 絵画Ⅰ※ 絵画Ⅱ※ 美術研究Ⅰ(絵画)※ 美術研究Ⅱ(絵画)※ 美術研究Ⅲ(絵画)※ 美術研究Ⅳ(絵画)※ 卒業制作						
専	教授	中野 滋 (58)	平成22年4月	造形表現(彫刻A) 造形表現(彫刻B) 造形表現(描画A) 造形表現(描画B) 美術表現論※ 美術リテラシー(彫刻)						
専	教授	北村 治 (59)	平成22年4月	ビジュアルデザイン※ イラストレーションⅠ(発想と描写①)※ イラストレーションⅡ(発想と描写②)※ イラストレーションⅢ(エディトリアル)※ イラストレーションⅣ(絵本)※						
				美術研究Ⅰ(イラストレーション)※	兼任	講師	後藤 薫 (50)	平成24年4月	美術研究Ⅰ(イラストレーション)※	平成24年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため教育課程構成上のバランスを考慮して北村治教授担当分の一部を担当(24)
				美術研究Ⅱ(イラストレーション)※	兼任	講師	後藤 薫 (50)	平成24年4月	美術研究Ⅱ(イラストレーション)※	平成24年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため教育課程構成上のバランスを考慮して北村治教授担当分の一部を担当(24)
				美術研究Ⅲ(イラストレーション)※	兼任	講師	後藤 薫 (50)	平成24年4月	美術研究Ⅲ(イラストレーション)※	平成24年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため教育課程構成上のバランスを考慮して北村治教授担当分の一部を担当(24)
				美術研究Ⅳ(イラストレーション)※	兼任	講師	後藤 薫 (50)	平成24年4月	美術研究Ⅳ(イラストレーション)※	平成24年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため教育課程構成上のバランスを考慮して北村治教授担当分の一部を担当(24)
				卒業制作						
専	教授	寺田 有恒 (62)	平成22年4月	ポランテア講座※ ビジュアルデザイン※ ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)※ グラフィックデザインⅠ(共通課題)※ グラフィックデザインⅡA(クリエイティブ・エディトリアル)※ グラフィックデザインⅡB(ビジュアルコミュニケーション)※ 美術研究Ⅰ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅱ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅲ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅳ(グラフィックデザイン)※ 卒業制作						
専	教授	松本 博文 (60)	平成22年4月	アカデミックリテラシー 法学 日本国憲法 法学特論 知的財産法A 知的財産法B 教養演習						
専	教授	本郷 英行 (62)	平成22年4月	造形表現(工芸A) 工芸※ 美術リテラシー(描画) 美術リテラシー(工芸) 立体造形基礎※ エクステリアエレメント※	兼任	講師	長崎 信博 (61)	平成23年4月	造形表現(工芸A)	平成23年4月から教育課程構成上のバランスを考慮して本郷英行教授担当分の一部を担当(23)
					専	准教授	辻 康介 (39)	平成23年4月	美術リテラシー(描画)	平成23年4月から教育課程構成上のバランスを考慮して本郷英行教授担当分の一部を担当 平成22年9月教員審査 済 判定 可 (23)

認可時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	備考
専	教授	安岡 和彦 (57)	平成22年4月	工芸※	兼任	講師	本間 純 (45)	平成24年4月	工芸※	平成24年4月から教育課程構成上のバランスを考慮して安岡和彦教授担当分の一部を担当(24)
				素材表現基礎※ メタルクラフト基礎※ クラフト(形体)※ メタルクラフトⅠ(彫金技法によるデザイン)※ メタルクラフトⅡ(鍛造技法の応用)※ クラフトデザインⅠ(接合技法とメタルクラフト)※ インテリアエレメントA(木と金属の家具デザイン)※ クラフトデザインⅡ(器のデザイン)※ クラフトデザインⅢ(機能と道具のデザイン)※ テーマ制作※ 美術研究Ⅰ(クラフトデザイン)※ 美術研究Ⅱ(クラフトデザイン)※ 美術研究Ⅲ(クラフトデザイン)※ 美術研究Ⅳ(クラフトデザイン)※ 卒業制作						
専	教授	城井 光広 (50)	平成22年4月	造形表現(デザインA)	専	教授	山田 弘和 (58)	平成22年4月	造形表現(デザインA)	平成21年12月城井光広教授(予定)辞退のため平成22年度より担当者の変更平成22年1月教員審査済 判定可(22)
				造形表現(デザインB)					造形表現(デザインB)	
									ビジュアルデザイン※	
				ビジュアルデザイン※	専	准教授	三橋 純 (43)	平成23年4月	ビジュアルデザイン※	平成23年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため山田弘和教授担当分を変更平成22年9月教員審査済 判定可(23)
					専	教授	山田 弘和 (58)	平成22年4月	美術リテラシー(導入)	平成21年12月城井光広教授(予定)辞退のため平成22年度より担当者の変更平成22年1月教員審査済 判定可(22)
					専	教授	浅川 正樹 (47)	平成23年4月	美術リテラシー(導入)	平成23年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため山田弘和教授担当分を変更平成22年9月教員審査済 判定可(23)
				美術リテラシー(導入)	専	准教授	久保 洋子 (51)	平成23年4月	美術リテラシー(導入)	
					専	助教	田崎 冬樹 (39)	平成23年4月	美術リテラシー(導入)	平成23年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため山田弘和教授担当分を変更認可時 教員審査済 判定可(23)
					兼	講師	関 孝行 (54)	平成24年4月	美術リテラシー(描画)	山田弘和教授の役職(学部長)就任により教員を変更(24)
					専	教授	山田 弘和 (58)	平成22年4月	美術リテラシー(描画)	平成21年12月城井光広教授(予定)辞退のため平成22年度より担当者の変更平成22年1月教員審査済 判定可(22)
					専	教授	浅川 正樹 (47)	平成23年4月	ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)※	平成23年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため山田弘和教授担当分を変更平成22年9月教員審査済 判定可(23)
				ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)※	専	准教授	久保 洋子 (51)	平成23年4月	ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)※	
					専	助教	田崎 冬樹 (39)	平成23年4月	ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)※	平成23年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため山田弘和教授担当分を変更認可時 教員審査済 判定可(23)
	専	教授	山田 弘和 (59)	平成23年4月	プロダクトデザイン論	平成23年4月から教育課程の充実を図るため、科目を追加平成22年9月教員審査済 判定可(23)				

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	北澤 茂夫 (53)	平成22年4月	ポランディア講座※ 美術リテラシー(導入) 絵画基礎Ⅰ※ 絵画基礎Ⅱ※ 絵画基礎Ⅲ※ 絵画Ⅰ※ 絵画Ⅱ※ 美術研究Ⅰ(絵画)※ 美術研究Ⅱ(絵画)※ 美術研究Ⅲ(絵画)※ 美術研究Ⅳ(絵画)※ 卒業制作						
専	教授	小野寺 玲子 (50)	平成22年4月	アカデミックリテラシー 原典講読 教養演習 西洋美術史Ⅰ 西洋美術史Ⅱ 西洋美術史特論 西洋工芸史 美術教育論						
専	教授	長谷川 昇 (61)	平成22年4月	教職入門 美術科教育法Ⅰ 美術科教育法Ⅱ 教職実践演習(中等) 教育実習の研究 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	兼任	講師	高橋 靖直 (67)	平成22年4月	教職入門	平成22年2月 教職課程認定に伴い 平成22年度より担当者の 変更(22)
専	教授	加藤 寿彦 (52)	平成22年4月	美術リテラシー(デザイン) ビジュアルデザイン基礎B(映像メディアデザイン)※ ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)※ 映像メディアデザインⅠA(3D・VR/AR)※ 映像メディアデザインⅡA(3D・VR/AR)※ 美術研究Ⅰ(映像メディアデザイン)※ 美術研究Ⅱ(映像メディアデザイン)※ 美術研究Ⅲ(映像メディアデザイン)※ 美術研究Ⅳ(映像メディアデザイン)※ 卒業制作						
専	教授	安部 定 (53)	平成22年4月	造形美術論Ⅰ 造形美術論Ⅱ 現代美術論 工芸論 芸術企画論 美術リテラシー(導入) 工芸計画(クラブ)						
専	教授	浅川 正樹 (46)	平成22年4月	美術表現論※ ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)※ グラフィックデザインⅠ(共通課題)※ グラフィックデザインⅡB(デジタルコミュニケーション)※ グラフィックデザインⅢC(デジタルクリエーション)※ 美術研究Ⅰ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅱ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅲ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅳ(グラフィックデザイン)※ 卒業制作						
専	准教授	山田 磯夫 (53)	平成22年4月	アカデミックリテラシー 原典講読 教養演習 博物館概論 日本美術史Ⅰ 日本美術史Ⅱ 西洋美術史						
専	准教授	徳永 健次 (55)	平成22年4月	ビジュアルデザイン※ 美術リテラシー(デジタル) ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)※	専	助教	田崎 冬樹 (39)	平成23年4月	ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)※	平成23年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため徳永健次准教授担当分の一部を担当 平成22年9月教員審査審判定可(23)
				兼任	講師	高岡 香苗 (41)	平成23年4月			平成23年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため徳永健次准教授担当分の一部を担当(23)
専	准教授	久保 洋子 (50)	平成22年4月	ビジュアルデザイン※ ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)※ ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)※ ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)※ ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)※						

認可時の計画					変更状況					備考
専任 兼担 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予 定年月	担当授業科目名	専任 兼担 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予 定年月	担当授業科目名	
専	准教授	横湯 久美 (43)	平成22 年4月	絵画※ 美術リテラシー(導入) 絵画基礎Ⅱ※ 絵画基礎Ⅲ※ 絵画Ⅰ※ 絵画Ⅱ※ 美術研究Ⅰ(絵画)※ 美術研究Ⅱ(絵画)※ 美術研究Ⅲ(絵画)※ 美術研究Ⅳ(絵画)※ 卒業制作						
専	准教授	杉山 倫也 (42)	平成22 年4月	アカデミックリテラシー 哲学概論 教育学概論 教育哲学 原典講読 教養演習 教育方法論 道徳教育の研究 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	兼任	講師	白井 嘉一 (64)	平成22 年4月	教育方法論	平成22年2月 教職課程認定に伴い 平成22年度より担当 の変更(22)
専	准教授	三橋 純 (42)	平成22 年4月	映像論 ビジュアルデザイン基礎B(映像メディアデザイン)※ ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)※ 映像メディアデザインⅠB(アニメ・映像デザイン)※ 映像メディアデザインⅡB(アニメ・映像デザイン)※ 美術研究Ⅰ(映像メディアデザイン)※ 美術研究Ⅱ(映像メディアデザイン)※ 美術研究Ⅲ(映像メディアデザイン)※ 美術研究Ⅳ(映像メディアデザイン)※ 卒業制作						
専	准教授	古性(江連) 淑子 (38)	平成22 年4月	情報処理概論 コンピュータハードウェア コンピュータネットワーク コンピュータリテラシー コンピュータ編集 ウェブデザインⅠ ウェブデザインⅡ ウェブプログラミング演習						
専	准教授	宮崎 詞美 (38)	平成22 年4月	絵本論 ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)※ イラストレーションⅠ(発想と描写①)※ イラストレーションⅡ(発想と描写②)※ イラストレーションⅢ(エディトリアル)※ イラストレーションⅣ(絵本)※ 美術研究Ⅰ(イラストレーション)※ 美術研究Ⅱ(イラストレーション)※ 美術研究Ⅲ(イラストレーション)※ 美術研究Ⅳ(イラストレーション)※ 卒業制作 工芸※						
専	准教授	加藤 良次 (52)	平成22 年4月	美術リテラシー(導入) 素材表現基礎※ 平面表現基礎※ テキスタイル基礎※ テキスタイルⅠB(プリントデザイン)※ テキスタイルⅡA(ウェアラブルデザイン)※ テキスタイルⅡB(プリントとデザイン展開)※ テキスタイルⅢ(ファブリックアート)※ インテリアエレメントB(家具とカバリングデザイン)※ テキスタイル総合表現※ 美術研究Ⅰ(テキスタイルデザイン)※ 美術研究Ⅱ(テキスタイルデザイン)※ 美術研究Ⅲ(テキスタイルデザイン)※ 美術研究Ⅳ(テキスタイルデザイン)※ 卒業制作	兼任	講師	生越(大工) 麻紀子 (40)	平成24 年4月	テキスタイルⅠB(プリントデザイン)※	平成24年4月から工芸領域 内の教育効果を高めるた め加藤良次准教授担当分 の一部を担当(24)
専	准教授	内田 均 (45)	平成22 年4月	文学 英語Ⅰ 身体表象論	兼任	講師	出居 麻美 (57)	平成24 年4月	インテリアエレメントB(家具とカバリングデザイン)※	平成24年4月から工芸領域 内の教育効果を高めるた め加藤良次准教授担当分 の一部を担当(24)
専	准教授	辻 康介 (38)	平成22 年4月	色彩概論 色彩特論 造形図法 構図論 デザイン概論 デザイン特論 美術リテラシー(デザイン)	専	教授	山田 弘和 (59)	平成23 年4月	デザイン特論	平成23年4月から教育 課程構成上のバランス を考慮して辻康介准教 授担当分を変更 平成22年9月教員審査 審 判定可(23)

認可時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	准教授	押元 一敏(39)	平成22年4月	ビジュアルデザイン実践C (イラストレーション) ※	専	教授	北村 治(60)	平成23年4月	ビジュアルデザイン実践C (イラストレーション) ※	平成23年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため押元一敏准教授担当分の一部を担当平成22年9月教員審査済 判定可 (23)	
				イラストレーションⅠ(発想と描写①)※ イラストレーションⅡ(発想と描写②)※ イラストレーションⅢ(エディトリアル)※ イラストレーションⅣ(絵本)※ 美術研究Ⅰ(イラストレーション)※ 美術研究Ⅱ(イラストレーション)※ 美術研究Ⅲ(イラストレーション)※ 美術研究Ⅳ(イラストレーション)※ 卒業制作							
専	助教	高瀬(鈴木)ゆり(由里)(47)	平成22年4月	平面表現基礎 テキスタイル基礎※ クラフト(空間)※ テキスタイルⅠA(織りの基本技法と知識)※ テキスタイルⅡA(ウェアラブルデザイン)※ 工芸計画(テキスタイル)※ テキスタイルⅢ(ファブリックアート)※ テキスタイル総合表現※ 美術研究Ⅰ(テキスタイルデザイン)※ 美術研究Ⅱ(テキスタイルデザイン)※ 美術研究Ⅲ(テキスタイルデザイン)※ 美術研究Ⅳ(テキスタイルデザイン)※ 卒業制作							
専	助教	田崎 冬樹(38)	平成22年4月	美術リテラシー(導入) ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)※ ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)※ ビジュアルデザイン基礎C(イラストレーション)※	兼任 講師	日置(谷岡)由美子(50)	平成24年4月	イラストレーションⅠ(発想と描写①)※ イラストレーションⅡ(発想と描写②)※	平成23年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため担当変更(24)		
				イラストレーションⅠ(発想と描写①)※ イラストレーションⅡ(発想と描写②)※	兼任 講師	後藤 薫(49)	平成23年4月	イラストレーションⅠ(発想と描写①)※ イラストレーションⅡ(発想と描写②)※	平成23年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため担当変更(23)		
				イラストレーションⅢ(エディトリアル)※ イラストレーションⅣ(絵本)※	兼任 講師	八木 美穂子(48)	平成23年4月	イラストレーションⅢ(エディトリアル)※ イラストレーションⅣ(絵本)※	平成23年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため担当変更(23)		
兼任 講師		東本(倉持)愛香(35)	平成22年4月	心理学	兼任 講師	野村 和孝(28)	平成23年4月	心理学	平成23年4月から担当予定講師の不都合により担当変更(23)		
兼任 講師		西野 泰広(59)	平成22年4月	教育心理学							
兼任 講師		宮瀧 交二(48)	平成22年4月	歴史学概論							
兼任 講師		永野 寛(45)	平成22年4月	経済学							
兼任 講師		岩井 貞夫(63)	平成22年4月	環境科学							
兼任 講師		鎌田 貴(47)	平成22年4月	体育							
兼任 講師		山村 昌代(36)	平成22年4月	体育							
兼任 講師		中島 祥子(29)	平成22年4月	英語Ⅱ	兼任 講師	堀 八重子(48)	平成24年4月	英語Ⅱ	平成24年4月から中島祥子講師辞退のため担当変更(24)		

認可時の計画					変更状況					備考
兼任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	兼任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	正田 靖子(51)	平成22年4月	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ						
兼任	講師	関 孝行(51)	平成22年4月	造形表現(彫刻A)						
兼任	講師	鈴木 寿一(46)	平成22年4月	造形表現(工芸B)						
兼任	講師	本池 巧(45)	平成22年4月	ウェブデザイン演習						
				美術リテラシー(Web)	兼任	講師	小田原 雄哉(31)	平成24年4月	美術リテラシー(Web)	平成24年4月から本池巧講師の時間帯の不都合が発生したため担当変更(24)
兼任	講師	栗林 賢(28)	平成22年4月	美術リテラシー(Web)						
兼任	講師	信太 孝夫(58)	平成22年4月	マルチメディア演習 3D表現						
兼任	講師	稲垣 久美子(47)	平成22年4月	キャリアデザイン講座	兼任	講師	有田 五郎(64)	平成23年9月	キャリアデザイン講座	平成23年9月から稲垣久美子講師辞退のため担当変更(24)
兼任	講師	阿部(佐藤) 美由起(39)	平成22年4月	美学概論						
兼任	講師	伊藤 恵夫(52)	平成22年4月	美術解剖学						
兼任	講師	杉本 洋(58)	平成22年4月	美術表現論※						
兼任	講師	森本 純一郎(34)	平成22年4月	漫画論						
兼任	講師	櫻内 理恵(52)	平成22年4月	パフォーマンス・アーツ論						
兼任	講師	本山 裕久(37)	平成22年4月	コンピュータグラフィックス	兼任	講師	橋本 弘子(40)	平成24年4月	コンピュータグラフィックス	平成24年4月から本山裕久講師辞退のため担当変更(24)
				美術リテラシー(DTP)	兼任	講師	堤 岳彦(37)	平成24年4月	美術リテラシー(DTP)	平成24年4月から本山裕久講師辞退のため担当変更(24)
					兼任	講師	恵面 奈津子(37)	平成24年4月	美術リテラシー(DTP)	平成24年4月から本山裕久講師辞退のため担当変更(24)
兼任	講師	山内 哲也(48)	平成22年4月	美術リテラシー(DTP)	兼任	講師	池上 貴之(32)	平成24年4月	美術リテラシー(DTP)	山内哲也講師担当コマ数調整のため山内哲也講師担当分の一部を担当(24)
				卒業制作						

認可時の計画					変更状況					備考				
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名					
					兼任	講師	高橋 豊史 (32)	平成24年4月	美術リテラシー (DTP)	平成24年4月から島名毅講師辞退のため担当変更(24)				
					兼任	講師	島名 毅 (33)	平成23年4月	美術リテラシー (DTP)	平成23年4月から教育課程の充実を図る開講数増のため(23)				
兼任	講師	江口 拓人 (28)	平成22年4月	美術リテラシー (Web)										
					兼任	講師	小田原 雄哉 (30)	平成23年4月	美術リテラシー (Web)	平成23年4月から教育課程の充実を図る開講数増のため(23)				
兼任	講師	八木 健一 (63)	平成22年4月	環境デザイン論										
兼任	講師	与那覇 大智 (42)	平成22年4月	絵画基礎Ⅰ※ 絵画基礎Ⅱ※										
兼任	講師	仲田 智 (47)	平成22年4月	絵画基礎Ⅱ※ 絵画Ⅰ※										
兼任	講師	大石 洋次郎 (63)	平成22年4月	絵画基礎Ⅱ※ 絵画基礎Ⅲ※										
兼任	講師	立原(山内) 真理子 (27)	平成22年4月	絵画基礎Ⅲ※										
兼任	講師	中嶋 明 (55)	平成22年4月	絵画基礎Ⅲ※ 絵画Ⅰ※ 絵画Ⅱ※										
兼任	講師	河内 成幸 (61)	平成22年4月	絵画基礎Ⅳ※										
兼任	講師	浜西 勝則 (60)	平成22年4月	絵画基礎Ⅳ※										
兼任	講師	松島 順子 (58)	平成22年4月	絵画基礎Ⅳ※										
兼任	講師	瀬島 匠 (47)	平成22年4月	絵画 絵画基礎Ⅳ※										
兼任	講師	秋本 貴透 (48)	平成22年4月	美術リテラシー(導入)	兼任	講師	奥秋 由美 (42)	平成22年4月	美術リテラシー(導入)	平成22年4月から科目の充実を図るため及び時間割上の理由により担当変更(22)				
				絵画基礎Ⅰ※					絵画基礎Ⅰ※	平成22年4月から科目の充実を図るためオムニバス担当者の追加(22)				
				絵画基礎Ⅱ※					兼任	講師	仲田 智 (49)	平成24年4月	絵画基礎Ⅰ※	平成24年4月から秋本貴透講師辞退のため担当変更(24)
				絵画基礎Ⅲ※							後任未定			平成24年4月から秋本貴透講師辞退 平成24年6月変更書提出予定(24)
				絵画基礎Ⅳ※					兼任	講師	奥秋 由美 (43)	平成23年4月	絵画基礎Ⅲ※ 絵画基礎Ⅳ※	平成23年4月から担当予定講師の不都合により担当変更(23)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	奥秋 由美(42)	平成22年4月	絵画基礎Ⅳ※						
兼任	講師	屋嘉部 正人(46)	平成22年4月	絵画Ⅰ※ 絵画Ⅱ※ 卒業制作						
兼任	講師	小河 朋司(43)	平成22年4月	絵画Ⅰ※ 絵画Ⅱ※ 卒業制作						
兼任	講師	内海 聖史(32)	平成22年4月	絵画Ⅱ※						
兼任	講師	本間 純(43)	平成22年4月	素材表現基礎※ 立体造形基礎※ エクステリアエレメント※						
					兼任	講師	本間 純(45)	平成24年4月	工芸※	平成24年度から履修希望者増による開講数増(24)
兼任	講師	生越(大工)麻紀子(38)	平成22年4月	美術リテラシー(導入) 素材表現基礎※ クラフト(空間)※ テキスタイルⅡB(プリントとデザイン展開)※ テキスタイル総合表現※ 美術研究Ⅰ(テキスタイルデザイン)※ 美術研究Ⅱ(テキスタイルデザイン)※ 美術研究Ⅲ(テキスタイルデザイン)※ 美術研究Ⅳ(テキスタイルデザイン)※ 卒業制作	専任	助教	高瀬(鈴木)ゆり(由里)(49)	平成24年4月	クラフト(空間)※	平成24年4月から工芸領域内の教育効果を高めるため生越(大工)麻紀子講師担当分を変更。認可時教員審査済。判定可(24)
					兼任	講師	生越(大工)麻紀子(40)	平成24年4月	工芸※	平成24年度から履修希望者増による開講数増(24)
					兼任	講師	岡部(垣本)圭子(39)	平成24年4月	工芸※	平成24年度から履修希望者増による開講数増(24)
兼任	講師	松村 真(46)	平成22年4月	美術リテラシー(導入) 素材表現基礎※ クラフト(形体)※ インテリアエレメントA(木と金属の家具デザイン)※ クラフトデザインⅢ(機能と道具のデザイン)※ 美術研究Ⅰ(クラフトデザイン)※ 美術研究Ⅱ(クラフトデザイン)※ インテリアエレメントB(家具とカバリングデザイン)※ 卒業制作						
					兼任	講師	出居 麻美(57)	平成24年4月	インテリアエレメントB(家具とカバリングデザイン)※	平成24年4月から工芸領域内の教育効果を高めるため松村 真講師担当分の一部を担当(24)
兼任	講師	林 宏(42)	平成22年4月	美術リテラシー(導入) 素材表現基礎※ クラフト(形体)※ クラフトデザインⅡ(器のデザイン)※ テーマ制作※ 美術研究Ⅱ(クラフトデザイン)※ 美術研究Ⅲ(クラフトデザイン)※ 卒業制作						
兼任	講師	佐藤 忠(43)	平成22年4月	メタルクラフト基礎※ メタルクラフトⅡ(鍛造技法の応用)※ クラフトデザインⅠ(接合技法と仕上げ)※ テーマ制作※ 美術研究Ⅲ(クラフトデザイン)※ 美術研究Ⅳ(クラフトデザイン)※ 卒業制作						
兼任	講師	折原 淳(47)	平成22年4月	テキスタイル基礎※ テキスタイルⅠB(プリントデザイン)※ テキスタイルⅢ(ファブリックアート)※ インテリアエレメントB(家具とカバリングデザイン)※ テキスタイル総合表現※ 美術研究Ⅰ(テキスタイルデザイン)※ 美術研究Ⅱ(テキスタイルデザイン)※ 美術研究Ⅲ(テキスタイルデザイン)※ 美術研究Ⅳ(テキスタイルデザイン)※ 卒業制作						
兼任	講師	出居 麻美(55)	平成22年4月	クラフト(空間)※ テキスタイルⅠA(織りの基本技法と知識)※ テキスタイルⅡA(ウェアラブルデザイン)※ テキスタイル総合表現※ 美術研究Ⅰ(テキスタイルデザイン)※ 美術研究Ⅱ(テキスタイルデザイン)※ 美術研究Ⅲ(テキスタイルデザイン)※ 美術研究Ⅳ(テキスタイルデザイン)※ 卒業制作	兼任	講師	生越(大工)麻紀子(40)	平成24年4月	テキスタイルⅡA(ウェアラブルデザイン)※	平成24年4月から工芸領域内の教育効果を高めるため担当を変更(24)

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	藤田 謙 (36)	平成22年4月	メタルクラフトⅠ(彫金技法によるデザイン)※ クラフトデザインⅢ(機能と道具のデザイン)※ 美術研究Ⅰ(クラフトデザイン)※ 美術研究Ⅱ(クラフトデザイン)※ 卒業制作						
兼任	講師	齋藤 良 (36)	平成22年4月	メタルクラフトⅠ(彫金技法によるデザイン)※ クラフトデザインⅢ(機能と道具のデザイン)※ 美術研究Ⅰ(クラフトデザイン)※ 美術研究Ⅱ(クラフトデザイン)※ テキスタイルⅡB(プリントとデザイン展開)※ 卒業制作						
兼任	講師	古屋 興一 (69)	平成22年4月	工芸計画(テキスタイル)※						
兼任	講師	池田 信夫 (61)	平成22年4月	工芸計画(テキスタイル)※						
兼任	講師	田邊 雅敏 (49)	平成22年4月	工芸計画(テキスタイル)※	兼任	講師	小笠原 宏 (65)	平成23年4月	工芸計画(テキスタイル)※	平成23年4月から田邊雅敏講師辞退のため担当変更(23)
兼任	講師	田向 待子 (54)	平成22年4月	工芸計画(テキスタイル)※						
兼任	講師	小笠原 宏 (64)	平成22年4月	工芸計画(テキスタイル)※						
兼任	講師	鈴木 安一郎 (46)	平成22年4月	美術リテラシー(導入) ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)※ ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)※ ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)※ ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)※	兼任	講師	磯崎 眞澄 (53)	平成23年4月	美術リテラシー(導入) ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)※ ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)※ ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)※ ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)※	平成23年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため担当変更(23)
兼任	講師	関 俊一 (45)	平成22年4月	ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)※	兼任	講師	後藤 薫 (49)	平成23年4月	ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)※	平成23年4月から関俊一講師辞退のため担当変更(23)
				ビジュアルデザイン基礎C(イラストレーション)※	兼任	講師	日置(谷岡)由美子 (49)	平成23年4月	ビジュアルデザイン基礎C(イラストレーション)※	
				ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)※	兼任	講師	高岡 香苗 (41)	平成23年4月	ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)※	
				イラストレーションⅠ(発想と描写①)※ イラストレーションⅡ(発想と描写②)※	兼任	講師	日置(谷岡)由美子 (49)	平成23年4月	ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)※	
					兼任	講師	高岡 香苗 (41)	平成23年4月	イラストレーションⅠ(発想と描写①)※ イラストレーションⅡ(発想と描写②)※	
兼任	講師	後藤 薫 (48)	平成22年4月	美術リテラシー(導入) ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)※	兼任	講師	高岡 香苗 (41)	平成23年4月	美術リテラシー(導入) ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)※	平成23年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため担当変更(23)
				ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)※						
				ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)※	専	助教	田崎 冬樹 (39)	平成23年4月	ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)※	平成23年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため後藤薫講師担当分を変更 認可時 教員審査済 判定 可 (23)
				ビジュアルデザイン基礎C(イラストレーション)※ ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)※						
兼任	講師	近野 和彦 (52)	平成22年4月	美術リテラシー(導入) ビジュアルデザイン基礎Ⅰ(共通課題)※ ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)※ ビジュアルデザイン基礎A(グラフィックデザイン)※ ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)※						
兼任	講師	佐藤 英里子 (35)	平成22年4月	美術リテラシー(デジタル) ビジュアルデザイン基礎B(映像メディアデザイン)※ ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)※						
兼任	講師	石原 次郎 (38)	平成22年4月	ビジュアルデザイン基礎B(映像メディアデザイン)※ 映像メディアデザインⅠB(アニメ・映像制作)※	兼任	講師	平山 学 (37)	平成22年10月	ビジュアルデザイン基礎B(映像メディアデザイン)※	平成22年10月から担当予定講師の不都合により担当変更(23)
兼任	講師	大谷 まや (57)	平成22年4月	ビジュアルデザイン基礎C(イラストレーション)※ ビジュアルデザイン実践C(イラストレーション)※ イラストレーションⅠ(発想と描写①)※ イラストレーションⅡ(発想と描写②)※						

認可時の計画				変更状況				備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	岩崎 誠司 (48)	平成22年4月	ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)※ グラフィックデザインⅠ(共通課題)※ グラフィックデザインⅡA(デジタルグラフィック)※ グラフィックデザインⅡB(デジタルコミュニケーション)※ 美術研究Ⅰ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅱ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅲ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅳ(グラフィックデザイン)※							
兼任	講師	恵面 奈津子 (35)	平成22年4月	ビジュアルデザイン基礎Ⅱ(共通課題)※ ビジュアルデザイン実践A(グラフィックデザイン)※							
兼任	講師	木村 匡孝 (29)	平成22年4月	ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)※ 映像メディアデザインⅠA(メディア・インスタレーション)※							
兼任	講師	井上 仁行 (36)	平成22年4月	ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)※ 映像メディアデザインⅡB(アニメ・映像デザイン)※	兼任	講師	安蔵 隆朝 (54)	平成23年4月	ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)※		平成23年4月から講師の時間帯の不都合が発生したため担当変更(23)
兼任	講師	菅野 温夫 (63)	平成23年4月	映像メディアデザインⅡB(アニメ・映像デザイン)※							平成23年4月から講師の時間帯の不都合が発生したため井上仁行講師担当分の一部を担当(23)
兼任	講師	国竹 章一 (33)	平成22年4月	ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)※	兼任	講師	石原 次郎 (39)	平成23年4月	ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)※		平成23年4月から国竹章一講師辞退のため担当変更(23)
兼任	講師	山田 秀人 (40)	平成22年4月	ビジュアルデザイン実践B(映像メディアデザイン)※							
兼任	講師	松坂 有二 (40)	平成22年4月	美術リテラシー(Web) 卒業制作	兼任	講師	栗林 賢 (29)	平成23年4月	美術リテラシー(Web)		平成23年4月から松坂有二講師辞退のため担当変更(23)
兼任	講師	本間 純 (44)	平成23年4月	卒業制作	兼任	講師	鈴木 安一郎 (47)	平成23年4月	美術リテラシー(Web) 卒業制作		
兼任	講師	磯崎 眞澄 (52)	平成22年4月	グラフィックデザインⅠ(共通課題)※ グラフィックデザインⅡB(デジタルグラフィック)※ グラフィックデザインⅡC(デジタルコミュニケーション)※ 美術研究Ⅰ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅱ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅲ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅳ(グラフィックデザイン)※ 卒業制作	兼任	講師	鈴木 安一郎 (47)	平成23年4月	グラフィックデザインⅠ(共通課題)※ グラフィックデザインⅡB(デジタルグラフィック)※ グラフィックデザインⅡC(デジタルコミュニケーション)※ 美術研究Ⅰ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅱ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅲ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅳ(グラフィックデザイン)※ 卒業制作		平成23年4月からビジュアルデザイン領域内の教育効果を高めるため担当変更(23)
兼任	講師	大塚 麻利子 (54)	平成22年4月	グラフィックデザインⅠ(共通課題)※ グラフィックデザインⅡA(デジタルグラフィック)※ グラフィックデザインⅡC(デジタルコミュニケーション)※							
兼任	講師	佐藤 薫 (49)	平成22年4月	美術研究Ⅰ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅱ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅲ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅳ(グラフィックデザイン)※ 卒業制作	兼任	講師	森賀 真弓 (48)	平成23年4月	美術研究Ⅰ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅱ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅲ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅳ(グラフィックデザイン)※ 卒業制作		平成23年4月から佐藤薫講師辞退のため担当変更(23)
兼任	講師	堤 岳彦 (34)	平成22年4月	美術研究Ⅰ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅱ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅲ(グラフィックデザイン)※ 美術研究Ⅳ(グラフィックデザイン)※ 卒業制作							
兼任	講師	安蔵 隆朝 (53)	平成22年4月	映像メディアデザインⅡA(アニメ・インスタレーション)※ 美術研究Ⅰ(映像メディアデザイン)※ 美術研究Ⅱ(映像メディアデザイン)※ 美術研究Ⅲ(映像メディアデザイン)※ 美術研究Ⅳ(映像メディアデザイン)※ 卒業制作	兼任	講師	木村 匡孝 (30)	平成23年4月	映像メディアデザインⅡA(アニメ・インスタレーション)※		平成23年4月から講師の時間帯の不都合が発生したため安蔵隆朝講師担当分の一部を担当(23)
兼任	講師	井上 仁行 (37)	平成23年4月	美術研究Ⅰ(映像メディアデザイン)※ 美術研究Ⅱ(映像メディアデザイン)※	兼任	講師	山内 哲也 (49)	平成23年4月	美術研究Ⅰ(映像メディアデザイン)※ 美術研究Ⅱ(映像メディアデザイン)※		平成23年4月から講師の時間帯の不都合が発生したため担当変更(23)
兼任	講師	井上 仁行 (37)	平成23年4月	卒業制作	兼任	講師	井上 仁行 (37)	平成23年4月	卒業制作		

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任・の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任・の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	講師	菅野 温夫 (62)	平成22年4月	美術研究Ⅰ(映像メディアデザイン) ※ 美術研究Ⅱ(映像メディアデザイン) ※ 美術研究Ⅲ(映像メディアデザイン) ※ 美術研究Ⅳ(映像メディアデザイン) ※ 卒業制作						
兼任	講師	日置(谷岡) 由美子 (48)	平成22年4月	イラストレーションⅠ(発想と描写①) ※ イラストレーションⅡ(発想と描写②) ※ イラストレーションⅢ(エディトリアル) ※ イラストレーションⅣ(絵本) ※						
兼任	講師	三井 卓夫 (59)	平成22年4月	美術研究Ⅰ(イラストレーション) ※ 美術研究Ⅱ(イラストレーション) ※ 美術研究Ⅲ(イラストレーション) ※ 美術研究Ⅳ(イラストレーション) ※ 卒業制作						
兼任	講師	八木 美穂子 (47)	平成22年4月	ビジュアルデザイン実践C(イラスト) ※ イラストレーションⅢ(エディトリアル) ※ イラストレーションⅣ(絵本) ※ 卒業制作						
兼任	講師	河西 恵子 (63)	平成22年4月	教育相談						
兼任	講師	服部 伴文 (66)	平成22年4月	特別活動の指導法 生徒・進路指導の研究						
兼任	講師	内藤 昌孝 (69)	平成22年4月	教育制度論	兼任	講師	高橋 靖直 (67)	平成22年4月	教育制度論	平成22年2月 教職課程認定に伴い 平成22年度より担当 の変更(22)

- (注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
14	12	0	2	28	27	14	12	0	2	28	25	
(14)	(12)	(0)	(2)	(28)	(13)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[Δ2]	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授	城井 光広	母親介護のための辞退申し出による。なお、当該人は開設前に横浜美術短期大学を平成21年12月31日付けをもって退職した。(22)
2			
3			

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

後任者は辞退者が担当予定していた全授業科目を引き続き担当することとなり、そのすべての授業科目について「可」の判定を受けて、シラバス及び時間割はそのまま継続できて、それぞれ後任者の氏名を入れることができ、学生の履修等への影響は特にはない。開設4ヶ月前に辞退の申し出があり、平成22年1月のAC教員審査に十分な時間的準備ができた。以上のとおりすべて変更が完了した状態で開学を迎えることができた。(22)

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (21年10月)	1.設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	<p>平成22年度開学となり、設置計画の確実な履行を行なっている。</p> <p>教育研究活動の水準を一層向上させるための方策を学内の委員会等で検討開始している。(22)</p> <p>留意事項に示された内容を確実に履行しつつ、さらなる水準の向上を目指し、次の通り教職員が一丸となって、大学全体で継続して積極的に取り組んでいる。</p> <p>設置計画を確実に履行するため、運営会議等において、本学の設置の趣旨・目的に基づいた大学運営について協議を行っている。学生にたいしては、本学の教育理念、教育の考え方、教育課程編成方針および学位授与方針を周知させるため、履修要項、学生手帳等にわかりやすく記載するとともにガイダンスにおいても説明を行っている。アドミッションポリシーについては、学生募集要項等に明示している。これらは大学ウェブサイトにも掲載し、教育情報の公表に努めている。</p> <p>4年制大学にふさわしい教育研究活動を確保し、その水準を一層向上させるため、各種委員会・研修会の開催等を充実させている。</p> <p>教務委員会において、授業内容のさらなる充実を目指して外部講師招聘制度の整備を進めている。</p> <p>FD推進委員会において、教員相互の授業参観及び授業改善研修会の実施、外部講師を招いた講演会の開催等により、FDの推進を図っている。</p> <p>研究活動については、教員の個人研究・共同研究を推進するために、デザインワークスペース（共同研究室）を整備する等の環境整備を行っている。</p> <p>また、研究活動の活性化および地域の美術振興に寄与するため、大学ギャラリーを設置し、研究成果発表を行っている。</p> <p>学生委員会および就職支援委員会においては、学生支援制度の整備を進めている。就職支援として、「コミュニケーション能力開発」を目的とし</p>	

		<p>た全1年次生対象の合宿研修をはじめとする各種キャリアサポートプログラム、就職活動のための教育指導等を行っている。また、学生の創作活動支援として、作品発表を行う際の費用の一部支給を行う制度の整備を進めている。</p> <p>自己点検評価委員会において、内部質保証に関わる基本方針を決定し、今後の改善に向け取り組んでいる。全般的な自己点検評価は、完成年度の翌年度に行うが、平成23年度から点検可能な部分について順次行っていく。(23)</p> <p>教務委員会において整備を進めていた外部講師招聘制度については、平成23年度は2科目で実施した。平成24年度も、授業計画における当該テーマの理解をより深め充実させることを目的として授業内講義、技術指導を実施する。また、授業を円滑に遂行するためのティーチング・アシスタント制度を設けた。</p> <p>学生委員会において整備を進めていた就職支援制度については、1年次の研修合宿を引き継いだ、2年次生向けのコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力向上のための研修を実施した。平成24年度についても、1年次、2年次対象の同様の研修を継続して実施する。</p> <p>学生委員会において整備を進めていた出品・発表支援制度については、平成23年度は8件について支援した。平成24年度も継続する。</p> <p>平成24年度から横浜市経済局工業技術支援センターのデザイン産学連携事業に参画し、地元企業との連携をスタートさせる。</p> <p>学生の表彰制度について内規を定めた。</p> <p>ギャラリー企画運営のため、ギャラリー委員会を設置し、活用を推進している。</p> <p>韓国の大学と教育学术交流を開始した。(24)</p>	
--	--	---	--

設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (24年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<美術学部 美術学科>

(1) 設置計画変更事項等

特に変更なし

認可時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

横浜美術大学FD推進委員会 ※関係規程添付

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

平成23年 4月27日 (委員7名参加)

平成23年 5月18日 (委員8名全員参加)

平成23年 6月 8日 (委員8名全員参加)

平成23年 7月13日 (委員8名全員参加)

平成23年10月26日 (委員7名参加)

平成23年11月16日 (委員8名全員参加)

平成23年12月14日 (委員8名全員参加)

平成24年 1月18日 (委員8名全員参加)

平成24年 2月29日 (委員8名全員参加)

c 委員会の審議事項等

- ・ 学生による授業評価アンケートについて
- ・ 教員相互の授業参観について
- ・ 授業改善研修会について
- ・ 学生による満足度アンケートについて
- ・ FD推進委員会主催講演会について
- ・ FD活動の学生へのフィードバック方法について
- ・ 教職員へのFDについての周知と意識向上への取組について
- ・ 満足度アンケートについて
- ・ 卒業生アンケートについて

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 授業改善研修会
- ・ 講演会、勉強会等
- ・ 教員説明会
- ・ 卒業生アンケート

b 実施方法

・教員相互の授業参観

専任教員は2年に1回、1科目の授業を前期または後期に公開する。各教員は、年度ごとに2科目を参観する。

・授業改善研修会

前・後期毎、年に2回授業改善研修会を開催し、教員相互の授業参観に対する意見交換を実施する。

・講演会、勉強会等

教員の資質の維持向上のための講演会、勉強会を開催する。

・教員説明会

各教員が、本学の教育理念、教育組織、カリキュラム概要について共通の認識を持てるよう、教員説明会を開催する。

・卒業生アンケート

卒業制作展終了後に実施。卒業年次生の、大学生活への満足度や入学後に達成できたことなどを調査する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・教員相互の授業参観

平成23年度は、13名の教員が授業を公開し、全教員が2科目を参観した。

・授業改善研修会

平成23年9月14日に平成23年度第1回授業改善研修会を実施し、教員27名が参加。平成24年2月29日に平成23年度第2回授業改善研修会を実施し、教員25名が参加。授業公開教員による工夫点、改善計画等の発表、意見交換を行った。

・講演会、勉強会等

平成23年6月22日に専任教員を対象とした「FD研修会」を実施し、教員が共通理解の下、FDに関する取り組みを実施することを目的に、FD推進委員長がFDの定義、取り組み指針などについて中教審答申を参考に説明。教員28名が参加した。平成24年3月14日に全教職員を対象とした「ソーシャルメディア利用に関する勉強会」を実施し、本学のメディア表現科目を担当する教員が、ソーシャルメディアを利用する際の注意点や活用事例などについて講演。55名が参加した。

・教員説明会

平成24年3月14日に平成24年度就任の全教員を対象とする横浜美術大学担当教員説明会を実施。非常勤講師を含む51名の教員が参加。全体会では大学の現況報告、コンピュータシステムについての説明、事務連絡を行った。また、共通科目、教職課程科目、各領域に分かれての分科会にて授業開始に向けての打合せ等を行った。なお、平成23年度については、東日本大震災によりやむなく開催を中止し、全教員に対して当日配布予定であった資料を郵送することで対応した。

・卒業生アンケート

卒業制作展示の片付け集合時に、4年次生に対しアンケートを行い、99名からの回答が得られた。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業改善研修会において授業公開教員は、公開した授業について、授業を行なうにあたって工夫、留意した点、参観した教員からの意見を踏まえた改善計画について発表し、それらをもとに意見交換を行うことで、授業改善への取組を行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成23年度は、卒業制作、教育実習を除く全科目を対象に前期末、後期末に実施した。各授業の最終又はその前の授業時に実施。前期は共通科目60、専門科目57、教職科目6の合計123科目の授業でアンケートが実施され、延べ4,021名の学生の回答を得た。後期は共通科目69、専門科目34、教職科目8の計111科目の授業で実施され、延べ3,101名の学生の回答を得た。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート集計結果は各教員に配布し、各教員はアンケート結果を受けて授業改善計画書を提出する。授業改善計画書は、所属研究室主任に報告され、研究室主任はこれを分析して報告書を作成する。これにより、各教員がアンケート結果の分析、考察を行い、授業改善への取組を行っている。
アンケートの学生への公開については、授業改善につながる効果的な方法をFD推進委員会で協議しており、学内でのファイル閲覧は平成24年度から実施する予定である。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

横浜美術大学FD推進委員会規程

(平成21年11月1日制定)

(設置)

第1条 横浜美術大学(以下「本学」という。)におけるファカルティ・ディベロップメント(教育の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究。以下「FD」という。)の推進を図るため、横浜美術大学にFD推進委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(構成)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 学部長
- (2) 学長が委嘱した専任教員 若干人

(任期)

第3条 前条第2号に規定する委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、学部長をもって充てる
- 3 副委員長は、委員の中から学長が委嘱する。
- 4 委員長は、委員会を招集し、議長となる。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、委員長の職務を代行する。

(所掌事項)

第5条 委員会は、次の各号に掲げる事項を企画し、及び実施する。

- (1) FDに係る調査・研究に関すること。
- (2) 教育の内容及び方法を改善するための支援に関すること。
- (3) 教育改善に係る評価に関すること。
- (4) その他FDに関すること。

(議事)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ議事を開き、議決することができない。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(事務)

第8条 委員会に関する事務は、事務局学務課において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年10月1日から施行する。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

自己点検評価は、学部長を委員長とする自己点検・評価委員会（以下「委員会」）が中心となって行う。手順としては、自己点検・評価委員会が評価項目、項目毎の評価基など実施計画を策定する。また、各委員会、各課が担当業務内容の点検を行う。そして、自己点検・評価委員会がその点検内容について、評価基準を満たしているかどうか評価を行う。

一般的な自己点検評価は、完成年度の翌年度の平成26年に行うが、平成23年度から点検・評価可能な項目について行った。「平成23年度自己点検・評価報告書」を作成し、教授会で配付し報告した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

平成26年7月 公表予定

b 公表方法

自己点検・評価報告書を刊行し、関係機関に配布予定
大学ホームページに公開予定（平成26年7月以降）

③ 認証評価を受ける計画

平成27年度に評価機関（財団法人 大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成24年8月1日予定)